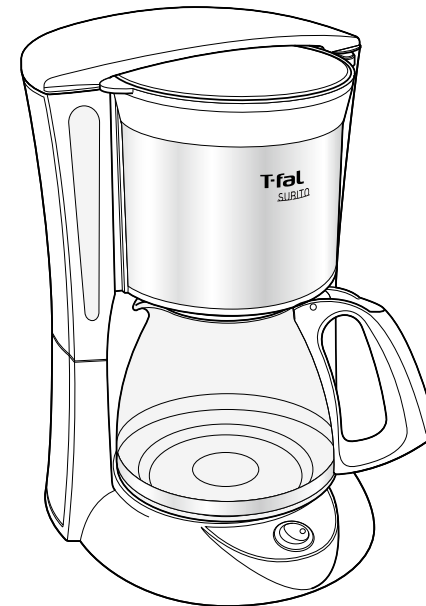


ティファール コーヒーメーカー

SURITO

スビト



株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-14-13 高輪ミュージズビル
修理センター：〒144-0042 東京都大田区羽田旭町 11-1
羽田クロノゲート 7 階 YMM 内

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※ 商品により部品としての取り扱いのない場合がございます。

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称	6

その他

お手入れ	10
故障かなと思ったときは	12
製品仕様	13

使い方

コーヒーを作る	7
---------	---

- お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いいただく方やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 本製品は家庭用です。業務用または一般家庭以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が表記されています。



警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

電源・電源コード



指示 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する

他の機器と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。

- 延長コードも定格15Aのものを単独でお使いください。



指示 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



指示 使用中、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社お客様相談センターまでご相談ください。



禁止 ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



指示 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



禁止 電源プラグや電源コードを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

お取り扱い



分解禁止 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しない

発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。



禁止 子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。



禁止 本体を水に浸さない

ショートしたり・感電をするおそれがあります。



禁止 水タンクに満水ライン(max)より多くの水を入れて、使用しない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。



禁止 ポットを直火(ガス台など)にかけたり、電気ヒーター、電磁調理プレート、電子レンジで使用しない

製品が破損したり、金属部分から火花が飛び散るなどして大変危険です。



注意 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

電源・電源コード



コンセントからはす 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指示 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電したりショートしたりして、発火するおそれがあります。

お取り扱い



禁止 コーヒー抽出中にポットをはずしたり、ポットなしでコーヒーを抽出しない

コーヒーがこぼれ、やけどの原因になります。



禁止 ポットを本体にセットしたまま、本体を動かさない

落下してやけどや破損の原因になります。



指示 お手入れは各部分が十分に冷えてからおこなう


熱いうちに高温部に触れると、やけどの原因になります。





指示 続けてコーヒーを作る場合は、一度本体の電源をオフにしてから10分以上待つ


抽出後、本体が熱いうちに水を注ぐと、蒸気や熱湯が噴き出し、やけどの原因になります。


安全上のご注意 (続き)


 **コーヒー抽出中や保温中は本体を動かさない**
禁止 やけどの原因になります。


 **保温するとき以外は、水タンクが空の状態では電源を入れない**
禁止 故障、火災の原因になります。


 **コーヒー抽出中は、フィルターバスケットを開けない**
禁止 蒸気が吹き出したり、コーヒーがあふれたりして、やけどの原因になります。


 **抽出中や抽出後しばらくは高温部（湯出口、フィルターバスケット、しずくもれ防止キャップ、保温プレートなど）に触れない**
禁止 やけどの原因になります。


 **ポットが熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない**
禁止 ポットが割れるおそれがあり、けがの原因になります。


 **付属のポット以外は使用しない**
禁止 お湯があふれるなどして、やけどの原因になります。


 **コーヒー抽出中は、フィルターバスケットの近くに手を近づけない**
禁止 フィルターバスケットの周囲から熱い蒸気が出て、やけどの原因となります。

 **コーヒーメーカーの蒸気が他の電気機器に当たるような場所で使用しない**
禁止 電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

 **ポットはガラス製品ですので、落としたり、固いものにぶついたりしない**
禁止 ガラスが割れてけがの原因になります。

 **不安定な場所や、熱に弱い敷物の上、可燃物の近く（カーテンの近くなど）では使わない**
禁止 火災の原因になります。

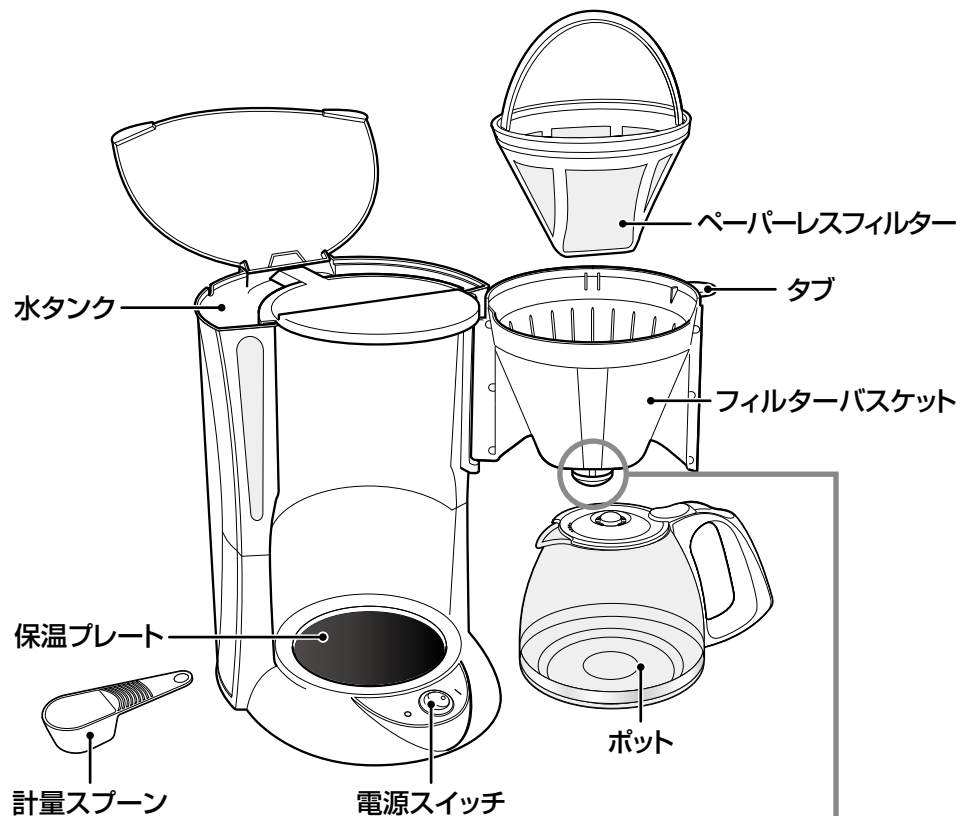
 **コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、電源コードをひっかけないよう気をつける**
指示 本体が落下し、やけど、けがをするおそれがあります。

 **壁や家具の近くで使用しない**
禁止 蒸気または熱で家具を傷め、変色、変形の原因になります。

使用上のご注意

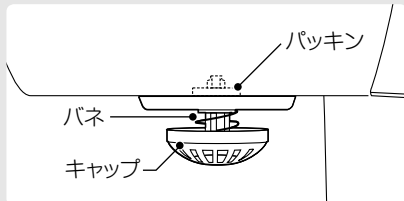
- 故障の原因になりますので、以下の点にご注意ください。
 - ・抽出中は、蒸気が出る場所（フィルターバスケット、水タンクふた）をふきんなどでふさがない
 - ・ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わない
 - ・水タンクに水以外のものを入れない
- 本製品は、必ず屋内で使用してください。
- 本製品は一般家庭用です。

各部の名称



しずくもれ防止キャップ

フィルターバスケットが閉まった状態で、保温プレートからポットをはずすと、しずくもれ防止キャップのパッキンが閉まり、フィルターバスケットからコーヒーが落ちるのを防ぎます。



初めてお使いになるときは

- フィルターバスケット、ペーパーレスフィルター、ポット
→ 本体から取りはずし、温水と洗剤で洗浄します。よくすすいだ後、再び取り付けます。
(フィルターバスケットの取りはずし/取り付け方は11ページを参照してください)
- 計量スプーン
→ 温水と洗剤で洗浄します。よくすすいだ後、乾かしておきます。

コーヒーを作る

1 水タンクに水を入れます。

水タンクを目盛りを目安にして、作るコーヒーの量の水を入れます。目盛りの数字が、コーヒーカップの杯数に対応しています。

本製品では、コーヒーカップ1杯を約120mlとしています。



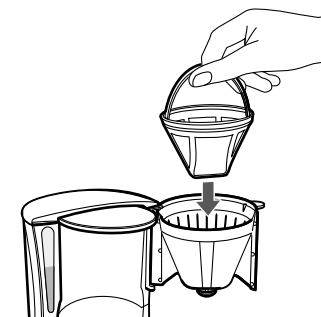
2 フィルターバスケットのタブを持ち、タブを押し下げながら、フィルターバスケットを開けます。



3 ペーパーレスフィルターまたは、市販のペーパーフィルター (サイズ: 1×2または102)をフィルターバスケットに入れます。

お知らせ

市販のペーパーフィルターを使用する場合は、付属のペーパーレスフィルターは使用しません。



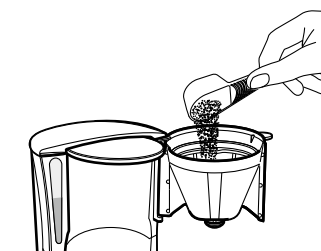
4 付属の計量スプーンでコーヒー粉を入れます。

コーヒー粉の量の目安は、お使いになるコーヒー粉の使用法にしたがってください。本製品はコーヒーカップ1杯を約120mlで抽出します。

ペーパーレスフィルターを使用する場合は、フィルター内側にあるMAXのラインを超えてコーヒー粉を入れないでください。

お知らせ

付属の計量スプーンは、すり切りで粉の量が約4gになります(コーヒー粉の種類により、若干重さが異なります)。



コーヒーを作る (続き)

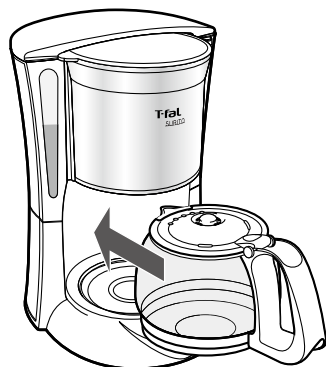
5 フィルターバスケットを閉じます。

カチッと音がするところまで確実にフィルターバスケットを押し込んでください。



6 ポットを保温プレートの上にセットします。

ポットをうまくセットできない場合は、フィルターバスケットがしっかりと閉じているか確認してください。

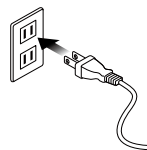


注意

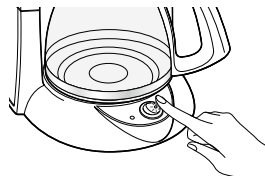
ポットはふたをして保温プレートの上に確実にセットしてください。

正しくセットされていないと、しずくもれ防止キャップが開かず、フィルターバスケットからコーヒーがあふれるおそれがあります。

7 電源プラグをコンセントに差し込みます。



8 本体電源スイッチの|側を押し、本体の電源をオンにします。パイロットランプが点灯し、コーヒーの抽出が始まります。



注意

- コーヒーを抽出している間は、フィルターバスケットを開けないでください。蒸気が吹き出し、やけどの原因になります。
- コーヒーを抽出している間は、本体からポットをはずさないでください。フィルターバスケットからコーヒーがあふれるおそれがあります。

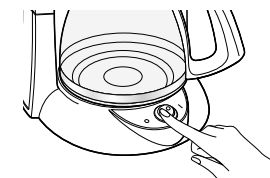
9 抽出が終わったら、コーヒーを注ぎます。

アイスコーヒーを作る場合

グラスの8分目まで氷を入れ、コーヒーを注ぎます。



10 保温をしない場合は、本体電源スイッチの○側を押し、電源をオフにしたあと、電源プラグをコンセントから抜きます。



注意

- 連続してコーヒーを作る場合は、一度電源をオフにしてから、10分以上お待ちください。本体が熱いうちに水タンクに給水すると、蒸気が吹き出し、やけどの原因になります。
- 本体電源スイッチをオンにしたままの場合、加熱・保温状態が続きますので、ご注意ください。

コーヒーを保温するときは・・・

抽出が終わった後、電源をオンにしたままにすると、コーヒーが保温されます。長時間保温すると、風味が損なわれますので、早めにお召し上がりください。

また、使用後は必ず電源をオフにしてください。

ミネラルウォーターを使う場合は・・・

ミネラル成分により、コーヒーマーカーに水あかが付着しやすくなりますので、こまめにお手入れをしてください。

お手入れ

使用後のお手入れ

フィルターバスケット・ペーパーレスフィルター

本体から取りはずし、温水と洗剤で洗浄します。洗浄後、よくすすいで乾燥させてください。

お知らせ

コーヒーを抽出すると、フィルター部やプラスチック部が着色されることがあります。

しずくもれ防止キャップ

フィルターホルダーに水を貯め、しずくもれ防止キャップを数回押し上げ、キャップにつまったコーヒー粉などを洗い流します。

※ パッキンなど小さな部品がありますので、誤って分解しないようご注意ください。



本体

電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めるのを待ってから、柔らかい布で拭いてください。頑固な汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてから拭きとってください。

ポット

本体から取りはずし、温水と洗剤で洗浄します。洗浄後、よくすすいで乾燥させてください。



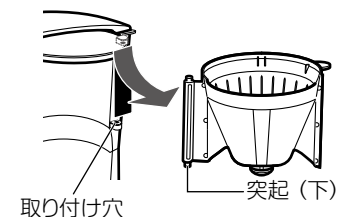
注意

- 故障の原因になりますので、コーヒーメーカー本体を水につけることは絶対におやめください。
- 磨き粉や金属タワシ、漂白剤などを使うと傷がついたり、変色するおそれがありますので、使用しないでください。
- フィルターホルダーには小さな部品(バネ、パッキンなど)がありますので、洗い流さないようご注意ください。

フィルターバスケットの取りはずし／取り付け方

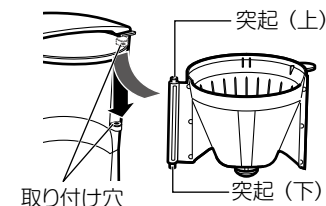
■ 取りはずし方

フィルターバスケットを押し上げて本体の取り付け穴から突起(下)を浮かせ、フィルターバスケットをとりはずします。



■ 取り付け方

フィルターバスケットの突起(上)を上部の取り付け穴に差し込んでから、突起(下)を下部の取り付け穴に差し込みます。



水あかを落とす

約40回のご使用ごとに水あかを除去するお手入れをすると、永く製品をお使いいただくことができます。

- 1 フィルターバスケットにフィルターホルダーをセットします。
- 2 保温プレートにポットをセットします。
- 3 水タンクに目盛り5までの水と9gのクエン酸を入れてかき混ぜます。
- 4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。
- 5 水タンク内の水が目盛り4まで減り、ポットにコーヒー1杯分のお湯がたまったら、電源をオフにします。
- 6 1時間放置します。
- 7 再び電源を入れ、水タンク内のクエン酸溶液が空になるまで待ちます。
- 8 電源をオフにし、保温プレートが十分に冷めたら、ポットの湯を捨て、タンクとポットを水で洗います。
- 9 水のみで2～3回ドリッパ(水のみで抽出)します。

お知らせ

クエン酸は柑橘類に多く含まれ、食品添加物にも使用されていますので、衛生上無害です。

故障かなと思ったときは

お問い合わせや修理を依頼される前にご確認ください。

このようなとき	ここをご確認ください
●抽出が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンセントに電源プラグが入っていますか? ・ 本体の電源はオンになっていますか? ・ 水タンクに水は入っていますか?
<ul style="list-style-type: none"> ●ポットにコーヒーが出てこない ●コーヒーがあふれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポットは正しくセットされていますか? ・ フィルターバスケットは正しくセットされていますか? ・ 水タンクに水を入れすぎていませんか? maxのライン以上に水を入れしないでください。 ・ コーヒー粉が細かすぎていませんか? 細挽き粉を使用すると、フィルターが目づまりを起こすことがあります。
●抽出に時間がかかるようになった	<ul style="list-style-type: none"> ・ お手入れをして、水あかを取り除いてください。

製品仕様


ティファール コーヒーメーカー スピト	
定格電圧/周波数	100V 50/60Hz
定格消費電力	600W
サイズ (全体)	幅 約17.7cm × 奥行 約18.7cm × 高さ 約27.5cm
質量 (全体)	約1.1kg
電源コードの長さ	1.5m
最大使用水量 (タンク容量)	0.6L

※ 仕様、デザイン、価格等は変更になることがありますのでご了承ください。

※ 本製品は日本国内のみで使用できます。

Made in China

●長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグに損傷が見られる。
- ご使用中に電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなったりする。
- いつもより本体が異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 製品の一部に割れ、がたつき、ゆるみがある。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状が見られるときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずグループセブジャパンお客様相談センターに点検・修理をご相談ください。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-14-13 高輪ミュージビル
 修理センター：〒144-0042 東京都大田区羽田旭町 11-1
 羽田クロノゲート 7 階 YMM 内

お客様
相談センター



0570-077772
ナビダイヤル 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072
ナビダイヤル 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
 ※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。